

## 弊社の見解

同センター発表内容に登場する、一部（不良）業者のコメントを取り上げ、「だから水素水は似非科学であり、ただの水だ」と、ひとくくりにして、偏見に満ちた売名学者の論評を、マスメディアは鬼の首をとったように流布します。

又、約 500 本の英語論文が発表されている事実には目をつぶり、「それらはほとんどが、細胞や動物試験等であって、ヒトの臨床試験ではないから信用してはいけない」と、当たり前の論評として垂れ流します。

ヒトの試験の前に細胞、動物から入るのは当たり前で、ヒトの臨床はこれからという段階です。これは正しい順序で、決して間違っておりません。この段階で、ヒトでの試験が少ないと突っ込まれても返答に窮するばかりです。ヒトの臨床も弊社だけで 12 疾患を進めており業界全体でも動きが出て来ております。

一方、今年の 11 月 30 日に、慶應義塾大学病院の申請による「水素ガス吸入療法」が厚生労働省の「先進医療 B」として認められるという画期的な出来事がありました。

当社も慶応大学病院と同じように、既に進行中の共同研究結果を踏まえて、年間で 10 アイテム程度の疾病に関する「先進医療 B」に挑戦していきます。

これらの結果が出ることにより、マスコミと売名学者によるネガティブ報道の数は減ってくると弊社は考えています。

以上